

# ピッター賞受賞作家書き下ろし! 日英の気鋭が集い贈る、新たな家族の物語

日英を代表する地域劇場、可児市文化創造センターと  
リーズ・プレイハウスは共同制作として、  
可児市から世界へ放つ作品『野兎たち』を発表します。  
英国のハロルド・ピッター新作委託賞受賞作家のブラッド・バーチが  
日本各地を取材して書き下ろした新作を、  
英国内外で活躍するマーク・ローゼンプラットと文学座の西川信廣の  
日英気鋭の演出家ふたりが共同演出で挑む意欲作です。  
出演はオーディションにより日英の実力派俳優が集結。  
なぜ人々は孤立し、社会的圧力に押しつぶされるのか…  
“個”に生きる現代人の孤独を、日英の才能があぶり出し、  
人々の幸福のあり方を問う、家族の物語。是非ご期待ください。

## STORY

岐阜県可児市、中村家に、ロンドンで暮らす娘・早紀子が、婚約者・ダンとその母・リンダを伴い帰ってくる。母・千代が迎え入れ、しばし流れる、和やかな異文化交流の時間。だが早紀子は様変わりした自室や、娘の帰省を知りつつ不在を決め込む父・勝に不信感を募らせ、「違う生き方」を選んだことで、自分は今も両親に罰せられているのだ」と鬱積した想いをダンに吐露する。やがて、早紀子の兄・弘樹の見舞いと称して、彼の同僚が来訪する。名古屋で妻と暮らすはずの兄。次第に、知られざる家族の姿が浮き彫りにされていく——。



スザン・もも子・ヒングリー



小田 豊



七瀬 なつみ



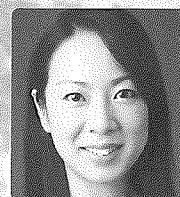
サイモン・ダーウェン



アイシャ・ベニソン



田中 宏樹



永川 友里

作: ブラッド・バーチ

美術/松井るみ

舞台監督/森 和貴

プロダクションマネージャー/村松明彦

翻訳:常田景子

照明/エリオット・グリッグス

宣伝美術/峯岸和男

プロデューサー/衛紀生

演出:マーク・ローゼンプラット+西川信廣

音響/マット・パデン

通訳兼コーディネーター/白井幹代

ムーブメントダイレクション:木村早智

衣裳/西原梨恵

制作/澤村潤、河合さつき、馬場順子

## 日本・英國の国際共同制作公演、いよいよ開幕!

可児市文化創造センターとリーズ・プレイハウスは、地域の人々の「生きがいづくり」「居場所づくり」に力を注ぐ、ともに日英を代表する地域劇場です。両劇場は2015年に劇場提携を結んで以来、スタッフやアーティストがお互いの文化活動を学び、地域コミュニティの中での劇場の役割に関しての概念を共有してきました。そして2020年、本作でいよいよ演劇作品の共同制作に挑みます。可児市文化創造センターからはじまったこの演劇公演は可児市だけに留まらず、東京(新国立劇場)・英国(リーズ・プレイハウス)でも上演します。

### 東京公演 新国立劇場 小劇場

2020年2月8日(土)~16日(日) [9回公演]

※開場は開演の30分前 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

| 2月    | 8日(土) | 9日(日) | 10日(月) | 11日(火・祝) | 12日(水) | 13日(木) | 14日(金) | 15日(土) | 16日(日) |
|-------|-------|-------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 14:00 |       | ●     |        |          | ●      | ●      |        |        | ●      |
| 19:00 | ●     |       | ●      |          |        |        | ●      | ●      | ●      |

チケット発売日 2019年12月12日(木)

お問い合わせ 石井光三オフィス TEL.03-5797-5502(平日12:00~18:00)

主催 (公財)可児市文化芸術振興財団

協賛 日本航空株式会社

### 新国立劇場

東京都渋谷区本町1丁目1番1号  
TEL:03-5351-3011(代表)  
<https://www.nntt.ac.go.jp/>  
[交通アクセス]  
京王新線「初台駅」中央口直結(都営新宿線乗り入れ、京王線は止まりません)

